

ボッシュ株式会社 電動工具事業部

ホームページ: <http://www.bosch.co.jp>
〒150-8360 東京都渋谷区渋谷 3-6-7

コールセンターフリーダイヤル

☎ 0120-345-762

(土・日・祝日を除く、午前9:00~午後6:00)

* 携帯電話からお掛けのお客様は、TEL 03-5485-6161
をご利用ください。コールセンターフリーダイヤルのご利
用はできませんのでご了承ください。



1 619 P11 692 (14.02)

- 本取扱説明書に記載されている、日本仕様の能力・型番などは、外国語の印刷物とは異なる場合があります。
- 本製品は改良のため、予告なく仕様等を変更する場合があります。
- 製品のカタログ請求、その他ご不明な点がございましたら、お買い求めになった販売店または弊社までお問い合わせください。

バッテリー丸のこ
GKS 10.8V-LIH (本体のみ)



取扱説明書

このたびは、弊社バッテリー丸のこをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
ご使用になります前に、この『取扱説明書』をよくお読みになり、正しくお
使いください。

- ご使用になる前に、この『取扱説明書』をよくお読みになり、正しくお
使いください。
- お読みになった後は、この『取扱説明書』を大切に保管してください。
わからないことが起きたときは、必ず読み返してください。
- 充電については、『充電器の取扱説明書』を併せてお読みください。



目次

●安全上のご注意	
警告表示の区分	2
バッテリー工具全般についての注意事項	2
バッテリー丸のこについての注意事項	9
●リサイクルのために	
使用済みバッテリーのリサイクルにご協力ください	13
●本製品について	
用途	14
各部の名称	14
仕様	15
標準付属品	16
使用可能バッテリー・充電器（別売）	16
●使い方	
バッテリー（別売）を準備する	17
作業前の準備をする	20
切断する	26
●困ったときは	
故障かな?と思ったら	32
修理を依頼するときは	33
●お手入れと保管	
クリーニング	34
保管	34

ご安全上
注意の

のリサイク
のために

本製品に
ついて

使い方

困ったときは

お手入れと
保管

安全上のご注意

ご安全 注意の

- ◆ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、次に述べる『安全上のご注意』を必ず守ってください。
- ◆ ご使用前に、この『安全上のご注意』すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- ◆ お読みになった後は、ご使用になる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ◆ 他の人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

警告表示の区分

ご使用上の注意事項は  危険、 警告、 注意 に区分していますが、それぞれ次の意味を表わします。



- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が大きい内容のご注意。



- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。



- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

バッテリー工具全般についての注意事項

ここでは、バッテリー工具全般の『安全上のご注意』についてご説明します。今回お買い求めいただいたバッテリー丸のこには、当てはまらない項目も含まれています。

 **危険**

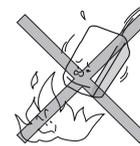
1. 専用のバッテリー以外を使用しないでください。

- ◆ この取扱説明書に記載されているバッテリー以外は充電しないでください。
- ◆ 改造したバッテリー（分解して、セルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。

ご安全
注意の
意の

工具本体の性能や安全性を損なう恐れがあり、けがや故障、発煙、発火などの原因になります。

2. バッテリーを火中に投入したり、加熱したりしないでください。

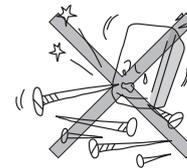


3. バッテリーにくぎを刺したり、衝撃を与えたりしないでください。

4. バッテリーを分解したり、改造したりしないでください。

5. バッテリーの端子間を短絡させないでください。

- ◆ バッテリーを金属と一緒に工具箱やくぎ袋などに保管しないでください。



6. バッテリーを火のそばや炎天下などの高温の場所で充電・使用・保管しないでください。

発熱・発火・破裂の恐れがあります。

7. 専用の充電器以外では、充電しないでください。

- ◆ 他の充電器でバッテリーを充電しないでください。

バッテリーの液漏れや発熱、破裂の恐れがあります。

 **警告**

ご安全
注意の

1. 正しく充電してください。

- ◆ この充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では、使用しないでください。
- ◆ 温度が0℃未満、または温度が45℃以上ではバッテリーを充電しないでください。
- ◆ バッテリーは、換気の良い場所で充電してください。充電中、バッテリーや充電器を布などで覆わないでください。
- ◆ 充電器を使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

2. 感電に注意してください。

- ◆ ぬれた手で電源プラグに触れないでください。

3. 作業場の周囲状況も考慮してください。

- ◆ バッテリー工具、充電器、バッテリーは、雨中で使用したり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
- ◆ 作業場は十分に明るくしてください。
- ◆ 可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。



4. 保護めがねを使用してください。

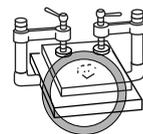
- ◆ 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

5. 防音保護具を着用してください。

- ◆ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。

6. 加工するものをしっかりと固定してください。

- ◆ 加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手でバッテリー工具を使用できます。



7. 次の場合は、バッテリー工具のスイッチを切り、バッテリーを本体から抜いてください。

- ◆ 使用しない、または修理する場合。
- ◆ 刃物、ビットなどの付属品を交換する場合。
- ◆ その他危険が予想される場合。



ご安全
注意の

8. 不意な始動は避けてください。

- ◆ スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- ◆ バッテリーを差し込む前にスイッチが切れていることを確認してください。

9. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- ◆ この取扱説明書、およびボッシュ電動工具カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものは使用しないでください。

10. バッテリーの液が目に入ったら直ちにきれいな水で十分洗い、医師の治療を受けてください。

11. 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。

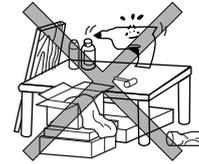
12. ご使用済みのバッテリーは、一般家庭ゴミとして棄てないでください。

棄てられたバッテリーが、ゴミ収集車内などで破壊されてショートし、発火・発煙の原因になる恐れがあります。

 **注 意**

ご安全
注上の
意の

1. **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。



2. **子供を近づけないでください。**

- ◆ 作業員以外、バッテリー工具や充電器のコードに触れさせないでください。
- ◆ 作業員以外、作業場へ近づけないでください。

3. **使用しない場合は、きちんと保管してください。**

- ◆ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。
- ◆ バッテリー工具やバッテリーを、温度が 50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。

4. **無理して使用しないでください。**

- ◆ 安全に能率よく作業するために、バッテリー工具の能力に合った速さで作業してください。
- ◆ モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。

5. **作業に合ったバッテリー工具を使用してください。**

- ◆ 小形のバッテリー工具やアタッチメントは、大形のバッテリー工具で行う作業には使用しないでください。
- ◆ 指定された用途以外に使用しないでください。

6. **きちんとした服装で作業してください。**

- ◆ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
- ◆ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
- ◆ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

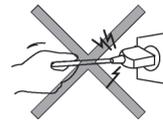


7. バッテリー工具は、注意深く手入れをしてください。

- ◆ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- ◆ 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- ◆ 充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店、またはポッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。
- ◆ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- ◆ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースなどが付かないようにしてください。

8. 充電器のコードを乱暴に扱わないでください。

- ◆ コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
- ◆ コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- ◆ コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。



9. 無理な姿勢で作業をしないでください。

- ◆ 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。



10. 調節キーやレンチなどは、必ず取り外してください。

- ◆ スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取り外されていることを確認してください。

11. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

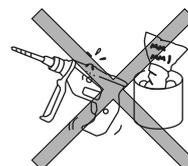
- ◆ 屋外で充電する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

12. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- ◆ バッテリー工具を使用する場合は、取り扱い方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- ◆ 常識を働かせてください。
- ◆ 疲れている場合は、使用しないでください。

**13. 損傷した部品がないか点検してください。**

- ◆ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ◆ 可動部分の位置調整、および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響を及ぼすすべての個所に異常がないか確認してください。
- ◆ 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。
- ◆ 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。
取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。
- ◆ スイッチで始動、および停止操作のできないバッテリー工具は、使用しないでください。

**14. バッテリー工具の修理は、専門店で依頼してください。**

- ◆ サービスマン以外の方はバッテリー工具、充電器、バッテリーを分解したり、修理・改造は行わないでください。
- ◆ バッテリー工具が熱くなったり、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
- ◆ この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ◆ 修理は、必ずお買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターにお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

バッテリー丸のこについての注意事項

バッテリー工具全般の『安全上のご注意』について、前項ではご説明しました。ここでは、バッテリー丸のこをお使いになるうえで、さらに守っていただきたい注意事項についてご説明します。

ご安全
注意の

警告

1. 使用するバッテリーは、取扱説明書に指定してあるものを装着してください。
 - ◆ 指定外のバッテリーを装着すると、丸のこ本体に支障をきたすばかりでなく、発煙・発火の原因になります。
2. のこ刃は、銘板に表示してある範囲内のものを使用してください。
 - ◆ 指定外ののこ刃は、けがの原因になります。
3. 機体を万力などで固定して使用しないでください。
 - ◆ 固定して使用すると、思わぬ事故の原因になります。
4. 使用中は、回転部や切り粉の排出部に手や顔などを近づけないでください。
 - ◆ 近づけると、けがの原因になります。
5. 切断する個所に、電線管や水道管、ガス管など埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。
 - ◆ 埋設物にのこ刃が触れると、感電・漏電・ガス漏れ事故の原因になります。
6. 保護カバーは絶対に固定しないでください。また、円滑に動くことを確認してください。
 - ◆ のこ刃が露出していると、けがの原因になります。
7. 切断する材料は、安定した台に置いてください。
 - ◆ 不安定な台に置くと、けがの原因になります。

8. 切り落とし寸前や切断中に、のこ刃が材料の重みではさみつけられないように、切断する部分に近い位置を支える台を設けてください。
 - ◆ のこ刃がはさみつけられると、けがの原因になります。
9. 材料の切り落とし側が大きいときは、切り落とし側にも安定性の良い台を設けてください。また、切り落とした材料がのこ刃と接触し飛散するのを防ぐために、台の高さは、のこ刃の出しろの3倍以上にしてください。
 - ◆ このような台がないと、けがの原因になります。
10. 切断途中で作業を中断する場合は、「メインスイッチ」を切り、回転が完全に止まってから本体を持ち上げてください。
 - ◆ のこ刃を回転させたまま本体を持ち上げたり、戻したりすると、強い反発が生じ、けがの原因になります。
11. 誤って落としたり、ぶついたりしたときは、のこ刃や製品などに破損や亀裂、変形がないか点検してください。
 - ◆ 破損や亀裂、変形があると、事故の原因になります。
12. 作業中は、丸のこ本体を確実に保持してください。
 - ◆ 確実に保持していないと、けがの原因になります。
13. フル充電されたバッテリーを複数個続けて使用する作業では、丸のこ本体が冷めるための時間を設けてください。
 - ◆ 複数個による連続作業は、本体に支障をきたすばかりでなく、本体の温度を上昇させて、低温やけどをする恐れがあります。
14. 使用中、機械の調子が悪くなったり、異常音がしたりしたときは、直ちに「メインスイッチ」を切ってください。使用を中止し、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターに点検・修理を依頼してください。
 - ◆ そのまま使用していると、事故の原因になります。

15. スタンドなどの使用による定置作業は行わないでください。

◆ 定置作業は、事故の原因になります。

16. のこ刃を取り付けたり、取り外したりするときは、必ずバッテリーを本体から外してください。

◆ 外さないと、けがの原因になります。

ご安全
注意の

注意

1. のこ刃や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。

◆ 確実にしないと外れたりし、けがの原因になります。

2. のこ刃にヒビや割れがないことを確かめてください。

◆ のこ刃が破損し、けがの原因になります。

3. 取扱説明書に記載されている用途および能力以上の作業はしないでください。

特にモーターをロックさせるなどの無理な使用はしないでください。

◆ 故障の原因になります。

4. 作業前に、人のいない方向にのこ刃を向けて空転させ、機体の振動やのこ刃のぶれなどの異常がないことを確認してください。

◆ 異常があるとけがの原因になります。

5. ブレーキが働くときの反発力に注意してください。

◆ 機体を落としたりし、けがの原因になります。

6. 高所作業のときは、下に人がいないかよく確かめてください。また、電源コードを引っ掛けたりしないでください。

◆ 材料や製品などを落としたとき、事故の原因になります。

ご安全
注上の
意の

7. 切断する材料の下に障害物がないことを確認してください。
 - ◆ 強い反発が生じ、けがの原因になります。
8. 回転させたまま、台や床などに製品を放置しないでください。
 - ◆ 事故の原因になります。
9. 材料の上に手を置いたまま切断しないでください。
 - ◆ 誤って手を切ったりします。
10. 材料に釘などの異物がないことを確かめてください。
 - ◆ 歯先が欠けたり、反発によりけがの原因になります。
11. 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れのある手袋は着用しないでください。
 - ◆ 回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
12. 切断直後、のこ刃は高温になっていますので、触れないでください。
 - ◆ やけどの原因になります。
13. 市販ののこ刃を使用する場合は、のこ刃に表示されている回転数が丸のこ本体の回転数を上回っているか確認してください。

のこ刃の回転数 $>$ 丸のこ本体の回転数
1400min⁻¹ (回転/分)

 - ◆ 丸のこ本体の回転数以下ののこ刃を使用すると、のこ刃が外れたりし、けがの原因になります。
14. のこ刃は不用意に触れると危険です。取り扱いには手袋などを着用してください。
 - ◆ 手袋などを着用しないと、けがの原因になります。

リサイクルのために

使用済みバッテリーのリサイクルにご協力ください

ポッシユは一般社団法人JBRCに加盟し、使用済みバッテリー工具用バッテリーのリサイクルを推進しております。恐れ入りますが使用済みのバッテリーは、ポッシユ電動工具取扱店、ポッシユ電動工具サービスセンター、またはJBRCリサイクル協力店へお持ちくださいますようお願いいたします。



【<http://www.jbrc.com>】



Li-ion

のリ
サイ
クル
に
め
く
た
す

この電動工具は、リチウムイオンバッテリーを使用しています。リチウムイオンバッテリーは、リサイクル可能な貴重な資源です。使用済みバッテリーのリサイクル活動にご協力くださいますよう、お願いいたします。

ご使用済みのリチウムイオンバッテリーは、電動工具本体から取り外し、ショート防止のためバッテリー端子部に絶縁テープを貼ってお出してください。

本製品について

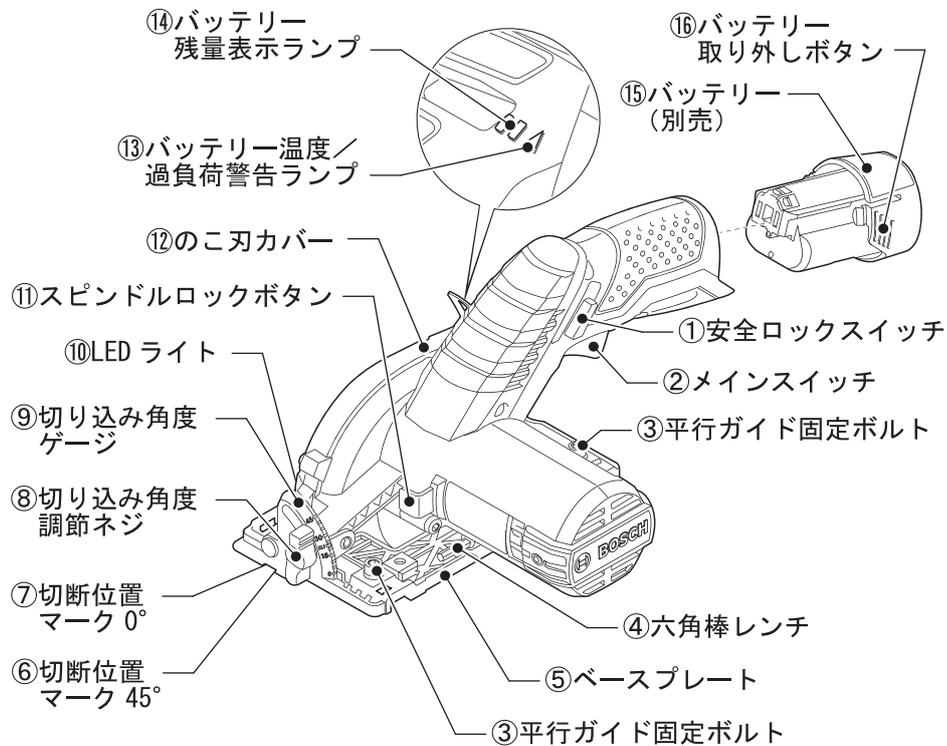
用途

- ◆ 木材の切断

※ 切断砥石・金属切断用チップソーは使用できません。

各部の名称

本製品について



◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

仕 様

本 体

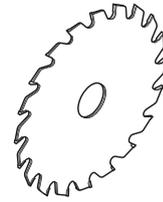
型 番	GKS 10.8V-LIH
定格電圧	DC 10.8V
無負荷回転数	1400 min ⁻¹ (回転/分)
最大切り込み深さ	
0°	26.5 mm
45°	17.0 mm
のこ刃寸法	
外 径	85 mm
内 径	20 mm
傾 斜	0° (直角) ~45°
振動3軸合成値	
木 材	2.5 m/s ² EN60745-2 規格に基づき測定
質 量	1.4 kg (1.3Ah バッテリー装着時)

つ本
製
い
品
てに

標準付属品



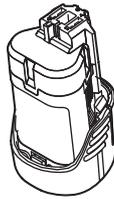
六角棒レンチ（本体に装着済み）



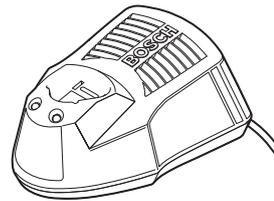
のこ刃

本
製
品
に
つ
い
て

使用可能バッテリー・充電器（別売）



リチウムイオンバッテリー
10.8V



専用充電器

◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

使い方



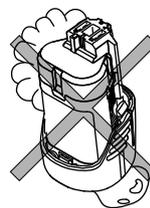
警告

- ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、「安全ロックスイッチ①」が“安全ロック（中央）”の位置になっていることを確認してください。

バッテリー（別売）を準備する

● バッテリー⑮を点検する

- バッテリーは弊社指定のものか？
- バッテリーから液漏れが発生していないか？
- バッテリー端子が傷んでいたり、汚れていたりしていないか？
- バッテリーは十分に充電されていて、消費していないか？



● バッテリー⑮を充電する

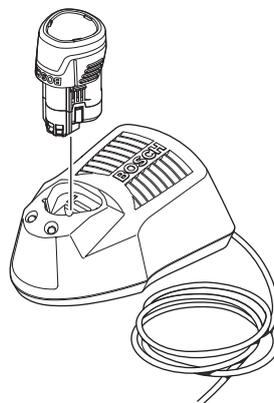
充電については、『充電器の取扱説明書』を併せてお読みください。



警告

- ◆ 破損防止のため、弊社指定の充電器を使って、バッテリー⑮を充電してください。
- ◆ バッテリー⑮が熱くなっているときは、冷えてから充電してください。
- ◆ エンジン発電機・変圧器で充電器を使用しないでください。

1. 充電器の電源プラグを電源コンセントに差し込みます。
2. 充電器にバッテリー⑮を差し込みます。
充電が始まります。



3. 充電が終わったら、バッテリー⑮を充電器から抜きます。
4. 充電器の電源プラグを電源コンセントから抜きます。

- ☞ 新品のバッテリー⑮や長期間使用していなかったバッテリー⑮は、バッテリー本来の能力を発揮させるために、1時間程充電してから使用してください。
- ☞ 正しく充電しても使用能力が著しく低下するようになった場合は、バッテリー⑮の寿命が尽きたと考えられます。
新しいバッテリー⑮と交換してください。
- ☞ 本機には、電子セル保護システム（ECP機能）がついております。
本体が過負荷になった場合や、バッテリー⑮が過放電または作業可能温度外になった場合には、バッテリー保護のために本体が自動的に停止します。

● バッテリー⑮を取り付ける・取り外す

使
い
方

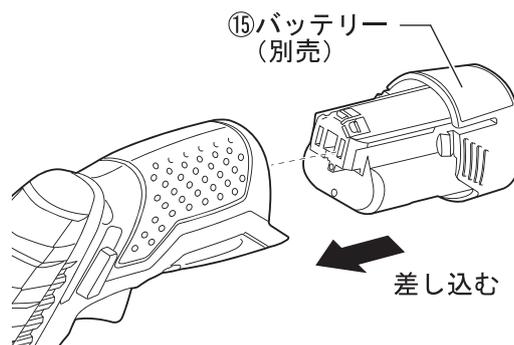


警告

◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、「安全ロックスイッチ①」が“安全ロック（中央）”の位置になっていることを確認してください。

取り付け

バッテリー⑮を、丸のこ本体のバッテリー差し込み口に“カチッ”と音がするまで押し込みます。



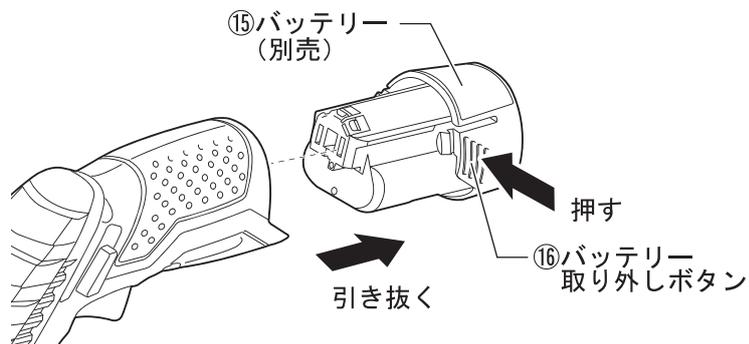
注意

◆ 不意の脱落を防ぐため、確実に固定されているか確認してください。

取り外し

注意 ◆ バッテリー⑮を引き出す際、けがをしないよう注意してください。

「バッテリー取り外しボタン⑯」を押しながらバッテリー⑮を丸のこ本体から引き出します。



使
い
方

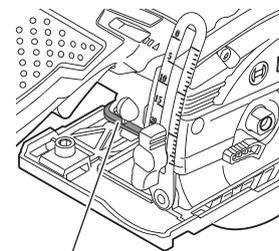
作業前の準備をする

-  **警告** ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、作業前の準備をするときは、丸のこ本体からバッテリー⑮を取り外してください。

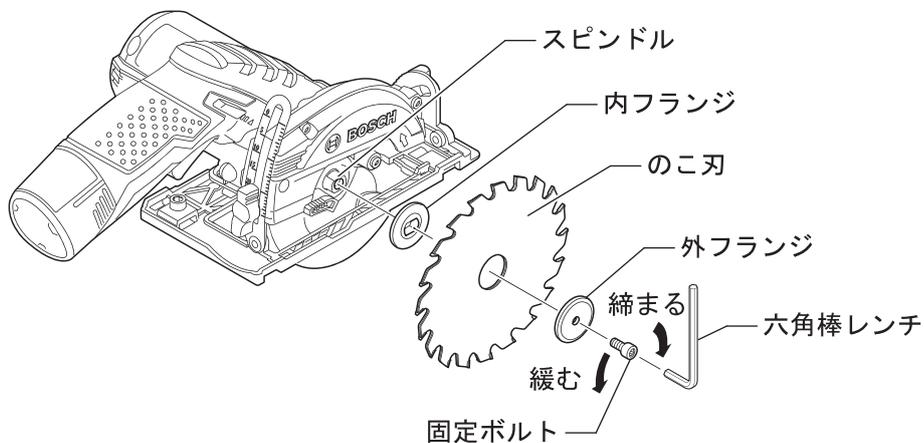
● のこ刃を取り付ける・取り外す

-  **注意** ◆ のこ刃の取り付け、取り外しは、付属の六角棒レンチ④を使用して作業を行ってください。他の工具を使用して作業すると、締め過ぎや締め付け不足になり、けがの原因になります。

 六角棒レンチは、モーターハウジングの下に収納されています。



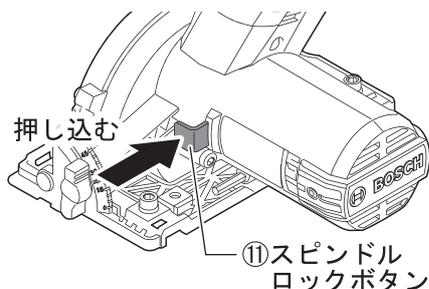
④六角棒レンチ



取り付け

1. スピンドル周辺の切り粉、ホコリを取り除きます。

2. 「スピンドルロックボタン①」を押し込みながら、六角棒レンチ④（標準付属品）で固定ボルトを反時計方向に回して緩めます。

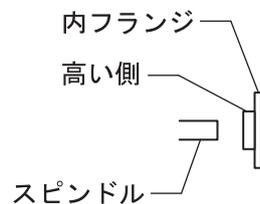


☞ スピンドルには「スピンドルロックボタン①」が噛み合う位置があります。「スピンドルロックボタン①」を押し込みながら固定ボルトを回し、スピンドルが確実にロックする位置を探してください。スピンドルがロックする位置では、「スピンドルロックボタン①」が一段深く押し込みます。

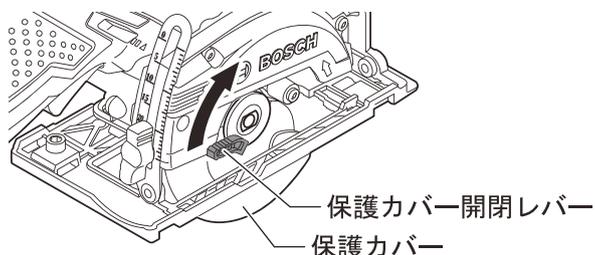
3. スピンドルから固定ボルト、外フランジ、内フランジを取り外します。

4. のこ刃、固定ボルト、外フランジ、内フランジを清掃します。

5. 内フランジの凸部（高い側）を本体側に向けてスピンドルにはめ込みます。



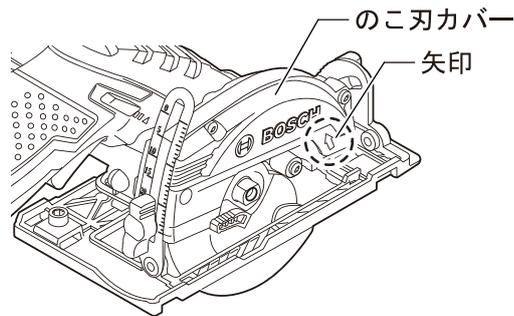
6. 保護カバー開閉レバーを矢印の方向にスライドさせ、保護カバーをいっぱいまで引き上げて保持します。



使
い
方

7. のこ刃をスピンドルにはめ込みます。

 のこ刃に刻印された矢印が、のこ刃カバーの矢印と同じ向きになるように、のこ刃をはめ込んでください。



8. 保護カバー開閉レバーを離します。

9. 外フランジの平らな面をのこ刃側に向けて、スピンドルにはめ込みます。
外フランジは、スピンドルの形状に合わせてはめ込んでください。

10. 固定ボルトを差し込みます。

11. 「スピンドルロックボタン①」を押し込みながら、六角棒レンチ④で固定ボルトを時計方向に回して締めます。

 スピンドルがロックされていないと、固定ボルトを締め付けることはできません。

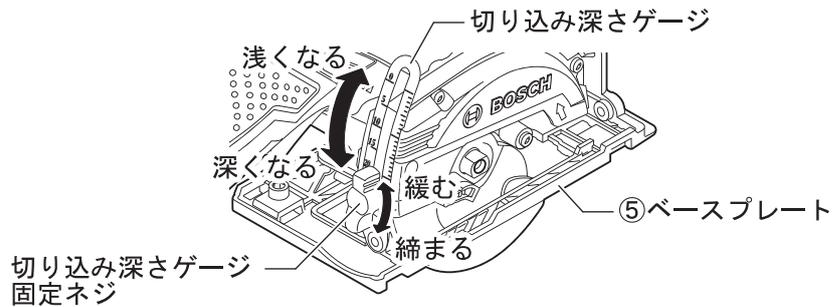
12. 「スピンドルロックボタン①」を離します。

取り外し

1. 「スピンドルロックボタン⑩」を押し込みながら、六角棒レンチ④（標準付属品）で固定ボルトを反時計方向に回して緩めます。
☞ スピンドルには「スピンドルロックボタン⑩」がかみ合う位置があります。「スピンドルロックボタン⑩」を押し込みながら固定ボルトを回し、スピンドルが確実にロックする位置を探してください。スピンドルがロックする位置では、「スピンドルロックボタン⑩」が一段深く押し込みます。
2. スピンドルから、固定ボルトと外フランジを取り外します。
3. 保護カバー開閉レバーをスライドさせて、保護カバーをいっぱいまで引き上げて保持します。
4. のこ刃を取り外します。
5. 保護カバー開閉レバーを離します。
6. 外フランジの平らな面を本体側に向けて、スピンドルにはめ込みます。
外フランジは、スピンドルの形状に合わせてはめ込んでください。
7. 固定ボルトを差し込みます。
8. 「スピンドルロックボタン⑩」を押し込みながら、六角棒レンチ④で固定ボルトを時計方向に回して締めます。
☞ スピンドルがロックされていないと、固定ボルトを締め付けることはできません。
9. 「スピンドルロックボタン⑩」を離します。

● 切り込み深さを調節する

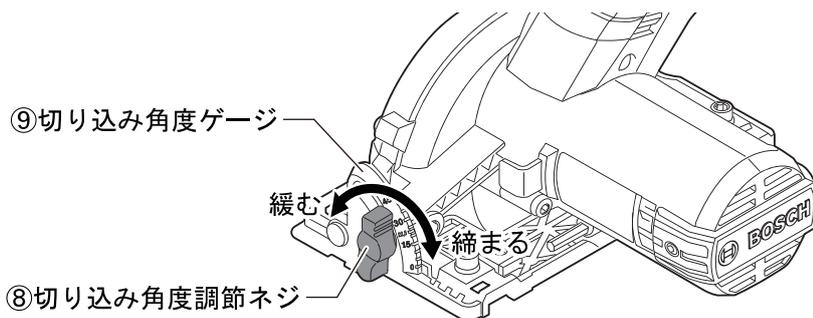
材料の厚さに合わせて、切り込み深さを調節してください。



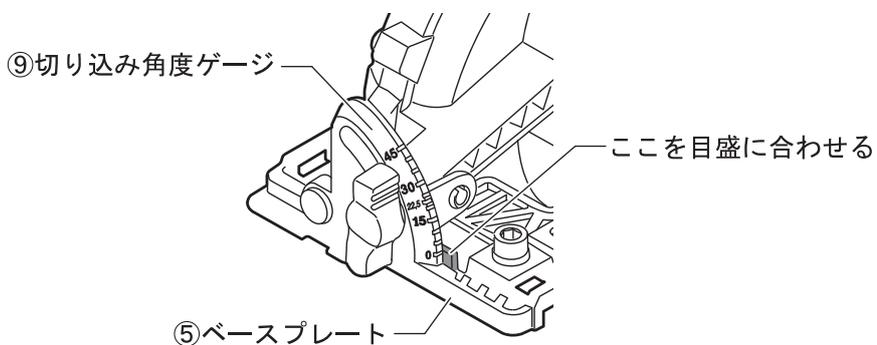
1. 切り込み深さゲージ固定ネジを矢印の方向に回して緩めます。
 2. ベースプレート⑤の後方（バッテリー側）を上下に動かして、切り込み深さを調節します。
ベースプレート⑤を下げると切り込み深さは浅くなり、ベースプレート⑤を上げると切り込み深さが深くなります。
☞ 最適な切断をするためには、のこ刃の歯先が材料下面から3mm以上はみ出さないようにしてください。
 3. 切り込み深さゲージ固定ネジを矢印の方向に回して、ベースプレート⑤を固定します。
 4. ベースプレート⑤が動かないことを確認します。
- ☞ 切り込み深さゲージの目盛りは目安です。正確な深さに調節したいときは、実際に測って調節してください。

● 切り込み角度を調節する

のこ刃をベースプレート⑤に対して傾けて切ることができます。
切断角度：0°～45°



1. 切り込み角度調節ネジ⑧を矢印の方向に回して緩めます。
2. 切り込み角度ゲージ⑨の目盛りを見ながら、ベースプレート⑤を任意の角度に傾けます。

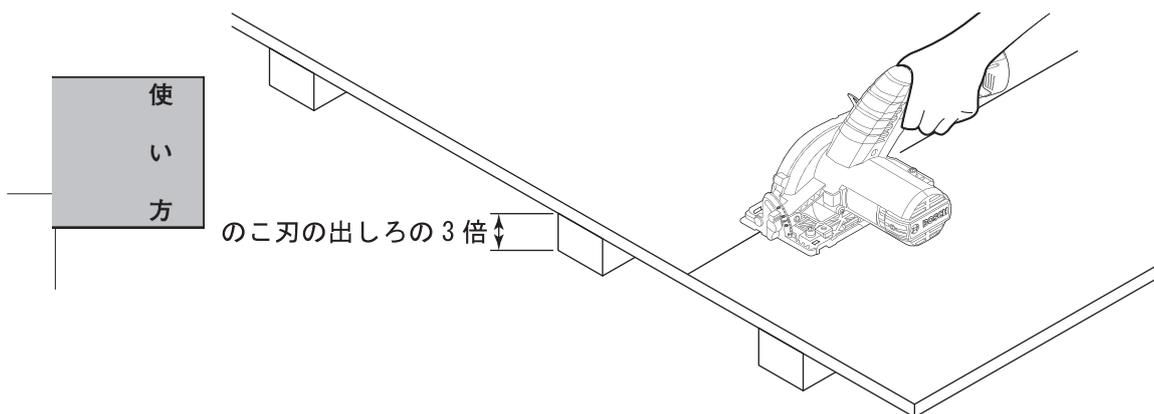


3. 角度計（直角の場合はスコヤ）などを使用し、希望通りの切り込み角度になっているか確認します。
☞ 切断作業前に切り込み角度を確認してください。
4. 切り込み角度調節ネジ⑧を矢印の方向に回して締めます。

使
い
方

切断する

- 警告**
- ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、バッテリー⑮を取り付ける前に、「安全ロックスイッチ①」が“安全ロック（中央）”の位置になっていることを確認してください。
 - ◆ 材料は、安定した台に置いてください。
 - ◆ 切り落とし寸前や切断中に、のこ刃が材料の重みではさみつけられないように、切断する部分に近い位置を支える台を設けてください。
 - ◆ 材料の切り落とし側が大きいときは、切り落とし側にも安定性の良い台を設けてください。また、切り落とした材料がのこ刃と接触し飛散するのを防ぐために、台の高さは、のこ刃の出しろの3倍以上にしてください。



- 注意**
- ◆ 「メインスイッチ②」から指を離すと同時にブレーキがかかります。ブレーキがかかると反発力が発生しますので、機体をしっかり保持してください。機体をしっかり保持していないと、機体を落としたりして、けがの原因になります。
 - ◆ ご使用前に、ブレーキがかかることを確認してください。万一、正常に作動しない場合は使用を中止し、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。

1 材料を確実に固定する

☞ 材料の固定には、クランプや万力を使用してください。

2 のこ刃、保護カバーを点検する

- のこ刃がしっかりと取り付けられているか？
- のこ刃が曲がったり、歯先が欠けていたりしていないか？
- のこ刃が摩耗していないか？
- 切り粉がたまっていないか、保護カバーがスムーズに動くか？

3 切り込み深さを確認する

切り込み深さが正しく調節されているか確認してください。
最適な切断をするためには、のこ刃の歯先が材料下面から3mm以上はみ出さないようにしてください。

4 本体にバッテリー⑮を取り付ける

バッテリー⑮を、本体のバッテリー指し込み口に、“カチッ”と音がするまで押し込みます。

☞ 充電が不十分なバッテリー⑮を取り付けると、バッテリー残量表示ランプ⑭が3つ点滅します。その際は、バッテリーを充電するか交換してください。

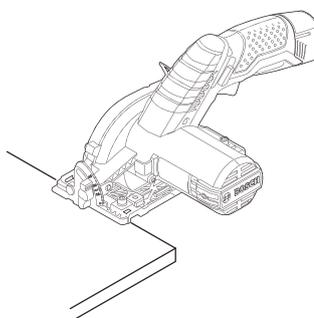
注意 ◆ 不意の脱落を防ぐため、確実に固定されているか確認してください。

5 本体を材料にセットする

材料の上にベースプレート⑤の先端部を置きます。

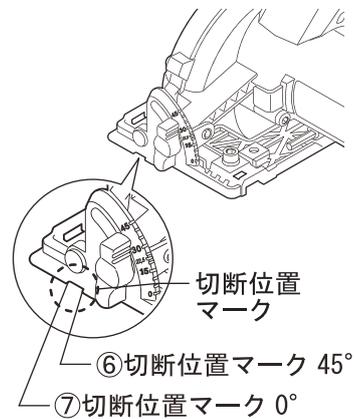
けがき線に切断位置マークを合わせます。

☞ のこ刃が材料に当たらないようにしてください。



切断位置マーク

ベースプレート⑤には、“0（直角切断）”と“45（45°切断）”の切断位置マーク⑥⑦があります。



製品の寸法が短くならないよう、切り欠きを切断線に合わせて、切断してください。

 試し切断することをお勧めします。

使
い
方

⑥ 「メインスイッチ②」を操作する

スイッチの入/切

入：「安全ロックスイッチ①」を左右どちらかに押し込みながら、「メインスイッチ②」を引き込みます。

「安全ロックスイッチ①」が押し込まれていないと、「メインスイッチ②」は引き込めません。

「メインスイッチ②」を引き込んだあとは、「安全ロックスイッチ①」を離します。

「メインスイッチ②」を“入”にすると、LEDライト⑩が点灯します。

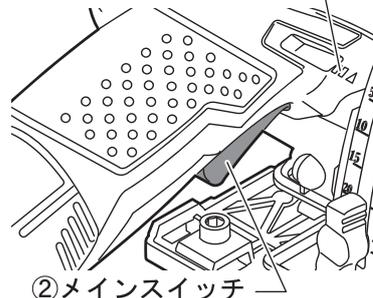
切：「メインスイッチ②」から指を離します。

本機には、電子セル保護システム（ECP 機能）がついております。
本体が過負荷になった場合やバッテリーが過放電または作業可能温度外にな
った場合には、バッテリー保護のために本体が自動的に停止します。
上記の状態が解消されると、再始動することができます。
本体が停止している状態で「メインスイッチ②」を“入”にし続けると、故
障の原因になります。

バッテリー充電状態表示

バッテリー⑮の充電状態をバッテ
リー残量表示ランプ⑭で、確認す
ることができます。「メインスイッチ
②」を“入”にすると、バッテリー
残量表示ランプ⑭が点灯します。
バッテリー残量表示ランプ⑭は 5
秒間点灯後、自動的に消灯します。

⑭バッテリー残量表示ランプ



②メインスイッチ

バッテリー残量表示ランプ	バッテリー残量
3つ点灯	2/3 以上
2つ点灯	1/3 以上
1つ点灯	1/3 未満
1つ点滅	要充電
3つ点滅*	要充電

*充電が不十分なバッテリーを取り付けたときに3つ点滅します。

☞ 「メインスイッチ②」を“入”にしても、バッテリー残量表示ランプ⑭が1つ
も点灯しないときは、バッテリー⑮が損傷しています。
バッテリーを交換してください。

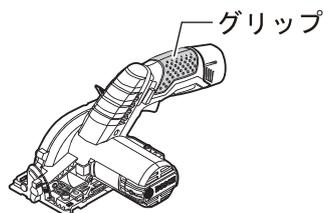
使
い
方

7 切断を始める

-  **警告** ◆ 作業中に振り回されないよう、本体をしっかり保持して、作業してください。
-  **注意** ◆ 切断時、丸のこ本体は軽く押すだけで十分です。必要以上に強く押し付けると、のこ刃を傷めて切断効率が下がったり、本体が故障したりします。
負荷が掛かりすぎてのこ刃が止まった場合は、直ちに「メインスイッチ②」を切り、作業を中断してください。
- ◆ 丸のこ本体をこじったり、材料に強く押しつけるような使い方はしないでください。反発（キックバック）の起こる可能性があります。大変危険です。

ベースプレート⑤を材料に密着させ、けがき線に沿って、まっすぐ、ゆっくり本体を押し進めて切断します。

-  のこ刃が材料に触れない状態で、「メインスイッチ②」を“入”にし、回転が十分に上がってから切断を始めてください。
-  本体のグリップをしっかり持ちます。



バッテリー温度／過負荷警告ランプ

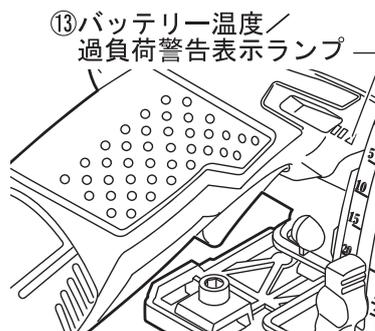
バッテリー⑬が高温になったときやモーターが過負荷の状態になったときに、バッテリー温度／過負荷警告ランプ⑬が点灯します。

バッテリー⑬やモーターへのダメージを防ぐため、バッテリー温度／過負荷警告ランプ⑬が点滅（赤）し、本体が自動的に停止します。

この場合、一度切断材料から本体を離し、「メインスイッチ②」を“切”にして、バッテリー⑬やモーターを十分に冷やしてください。

バッテリー⑬やモーターが適正温度に戻ると、作業が再開できます。

「メインスイッチ②」を“入”にし、回転が十分に上がってから切断を始めてください。



8 切断を終了する

「メインスイッチ②」から指を離すと、のこ刃が止まります。



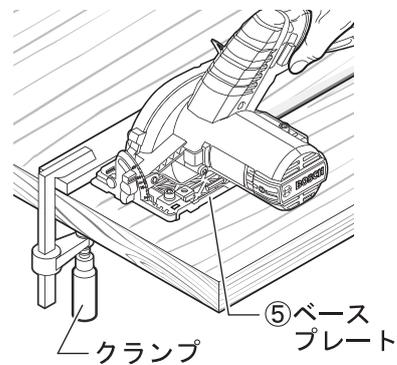
注意

- ◆ のこ刃が完全に止まるまで、本体を床やテーブルなどに置かないでください。
- ◆ スイッチを切ったあと、のこ刃の動きを無理に止めないでください。

● 角材などを使用して切断する

角材などを使用して平行切断を行う場合は、切断材料と角材などを固定具（ネジ式クランプなど）で確実に固定してください。

切断作業は、ベースプレート⑤を角材などに押し当てながら、丸のこ本体を一定の速度で動かしてください。



使
い
方

困ったときは

故障かな?と思ったら

- ① 『取扱説明書』を読み直し、使い方に誤りがないか確かめます。
- ② 充電については、『充電器の取扱説明書』を読み直します。
- ③ 次の代表的な症状が当てはまるかどうか確かめます。

症 状	原 因	対 処
「メインスイッチ②」を引き込んで、回らない	バッテリー⑬が消耗している（電子セル保護システムが作動した）	バッテリー⑬を充電するか、交換する
	バッテリー⑬の温度が最適温度範囲外になっている	バッテリー⑬が最適温度範囲内になるまで待つ か、交換する
	本機の温度が最適温度範囲外になっている	作業可能温度範囲内になるまで待つ
切断に時間がかかる（切断できない）	のこ刃が摩耗している	のこ刃を交換する
「メインスイッチ②」が引き込めない	「安全ロックスイッチ①」が安全ロックの位置になっている	「安全ロックスイッチ①」を左右どちらかに押し込みながら「メインスイッチ②」を引き込む
充電しても、フル充電しない。または、フル充電しても、使用時間が短い	バッテリー⑬の寿命が尽きた	バッテリー⑬を交換する

困ったときは

修理を依頼するときは

- ◆ 『故障かな?と思ったら』を読んでもご不明な点があるときは、お買い求めの販売店または弊社コールセンターフリーダイヤルまでお尋ねください。
- ◆ 修理を依頼されるときは、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターにご相談ください。
- ◆ この製品は厳重な品質管理体制の下に製造されています。万一、本取扱説明書に書かれたとおり正しくお使いいただいたにもかかわらず、不具合（消耗部品を除きます）が発生した場合は、お買い求めの販売店または、ボッシュ電動工具サービスセンターまでご連絡ください。弊社で現品を点検・調査のうえ、対処させていただきます。お客様のご使用状況によって、修理費用を申し受ける場合があります。あらかじめご了承ください。

コールセンターフリーダイヤル ☎ 0120-345-762

土・日・祝日を除く、午前9:00~午後6:00

※携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161 をご利用ください。
コールセンターフリーダイヤルのご利用はできませんのでご了承ください。

ボッシュ電動工具サービスセンター

〒360-0107 埼玉県熊谷市千代 39

TEL 048-536-7171 FAX 048-536-7176

ボッシュ電動工具サービスセンター西日本

〒811-0104 福岡県糟屋郡新宮町の野 741-1

TEL 092-963-3486 FAX 092-963-3407

困ったときは

お手入れと保管



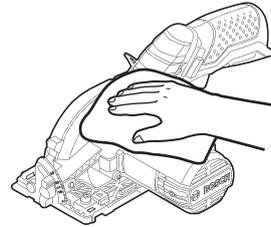
警告

◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、バッテリー⑮を本体から取り外し、お手入れしてください。

クリーニング

- 通風口や保護カバーなどの切り粉、ホコリを取り除く
- 乾いた、柔らかい布で本体の汚れをふき取る

☞ 変色の原因になるベンジンなど、溶剤を使わないでください。



保管

- 丸のこを使った後は、バッテリー⑮を取り外し、きちんと保管する

- 子供の手が届くところ、または錠が掛からないところに置かない。
- 風雨にさらされたり、湿度の高いところに置かない。
- 直射日光が当たったり、車中など高温になるところに置かない。特に、バッテリーは 50℃以上になるところに置かない。
- ガソリンなど、引火性が高いものの近くに置かない。
- ショートを防ぐため、バッテリー端子に絶縁テープを貼ってください。

